

にのみ見られたものかどうか、お教え願いたい。

2) 慶大内科の土屋講師のウサギの実験では、膀胱を過度に充満した場合には、EKGで判読できない状態が惹起できると報告していましたし、膀胱の充満度はどうだったのか気になりましたので。また土屋講師らの実験よりすれば、先生が指摘されたAutonomous nerve systemで一応説明がつくのではないかと、私は考えております。

応答：仙頭 茂（脳神経外科）尿意を相当我慢したと考えられるのは、1回のみ（帰宅の途中）であります。しかし、5回共に膀胱が充満していた事は確かなようです。

13番：演題名変更

Erythrodermic psoriasis の1例を「**Erythrodermic psoriasis** 類似の炎症性角化化症の1例」に変更。

16番：演題名変更

「脈なし病症状を呈した中大脳動脈、鎖骨下動脈閉塞症の1例」に変更。

21. 不純 **N-Butyl-N-butanol (4)-nitrosamin** 経口投与によるラットの実験的膀胱腫瘍について

（泌尿器科）河野 南雄・他

質問 広沢弘七郎（心研）線溶のお話でしたが、先生としてはどのような見通しをお持ちですか。

応答 河野南雄（泌尿器科）膀胱腫瘍における間質反応の一つとしてのフィブリノーゲン→フィブリン転化についてみようというのが主目的で、今回予備実験として線溶をもみたわけで、例数も少なく、何とも返答申し上げられません。

いずれにせよ、フィブリノーゲンがフィブリンに転化すれば、付随的（2次的？）であれ線溶は動くはずだといつたぐらいの見通ししか持っておりません。

23. 巨大腫瘍によつて圧迫された尿管の術前後の所見

（産婦人科）加藤 彰子・他

質問 広沢弘七郎（心研）可逆的に治る境はどれくらいの期間までですか。

応答 加藤彰子（婦人科）症例によつても異なりませんが、炎症などが加わつたりすると早くなり、3カ月ぐらいで非可逆的となつた例が報告されております。

24. 当整形外科における脊髄損傷の経験

（整形外科）上田 礼子・他

質問 広沢弘七郎（心研）生命に限らず機能を含めて手術後の予後はどの様ですか、手遅れなどの問題などを感じたと思ひますが。

応答 上田礼子（整形外科）1) 良好例は、ほとんど以前の仕事に従事し、術前の症状はほとんどとれている。不変は歩行、直腸障害などの重篤な症状が残っている。悪化3例はすべて死亡している。

2) 特に手遅れと思われたものはなかつたが、脊髄の変性を考えれば、早期に発見し手術をする事が望ましい。

25. 不整脈に対するペースメーカーの治療

（心研）丁 栄市・他

質問 広沢弘七郎（心研）Adams-Stokes 症候群のない症例に pace-maker を入れてあるのはどのような適応ですか。

VSD術後の完全ブロックは予後が悪いことが分つているので入れたし、1例は Adams-Stokes までいかないが、low-output が目立つ徐脈ということで植込んだわけですね。

応答 丁 栄市（心研）不完全房室ブロックのKranke で…Adams-Stokes 発作を起しておりませんが、II° A-V block にて軽い動悸と目まいを頻回に起こしているため植込みを行ないました。また、開心術後のIII° A-V block を合併した患者に対しては、術直後よりペースメーカーを行なつているので、Adams-Stokes は既往としてはありません。